



Japan-Saudi Arabia
Industrial Cooperation Task Force

日本・サウジアラビア 産業協力タスクフォース 活動紹介

2011年3月

(財) 中東協力センター

日本・サウジアラビア産業協力タスクフォース事務局

目次

1. 日本・サウジアラビア産業協力タスクフォースの
活動概観

2. サウジアラビア有力企業ヒアリング調査
（「パートナー・ニーズ調査」） 結果報告



1. 日本・サウジアラビア産業協力タスクフォースの 活動概観

2. サウジアラビア有力企業ヒアリング調査 （「パートナー・ニーズ調査」） 結果報告



日本・サウジアラビア産業協力フレームワーク

2007年5月安倍総理サウジアラビア訪問
(経団連ミッション)

共同声明

(産業協力フレームワーク関連部分)

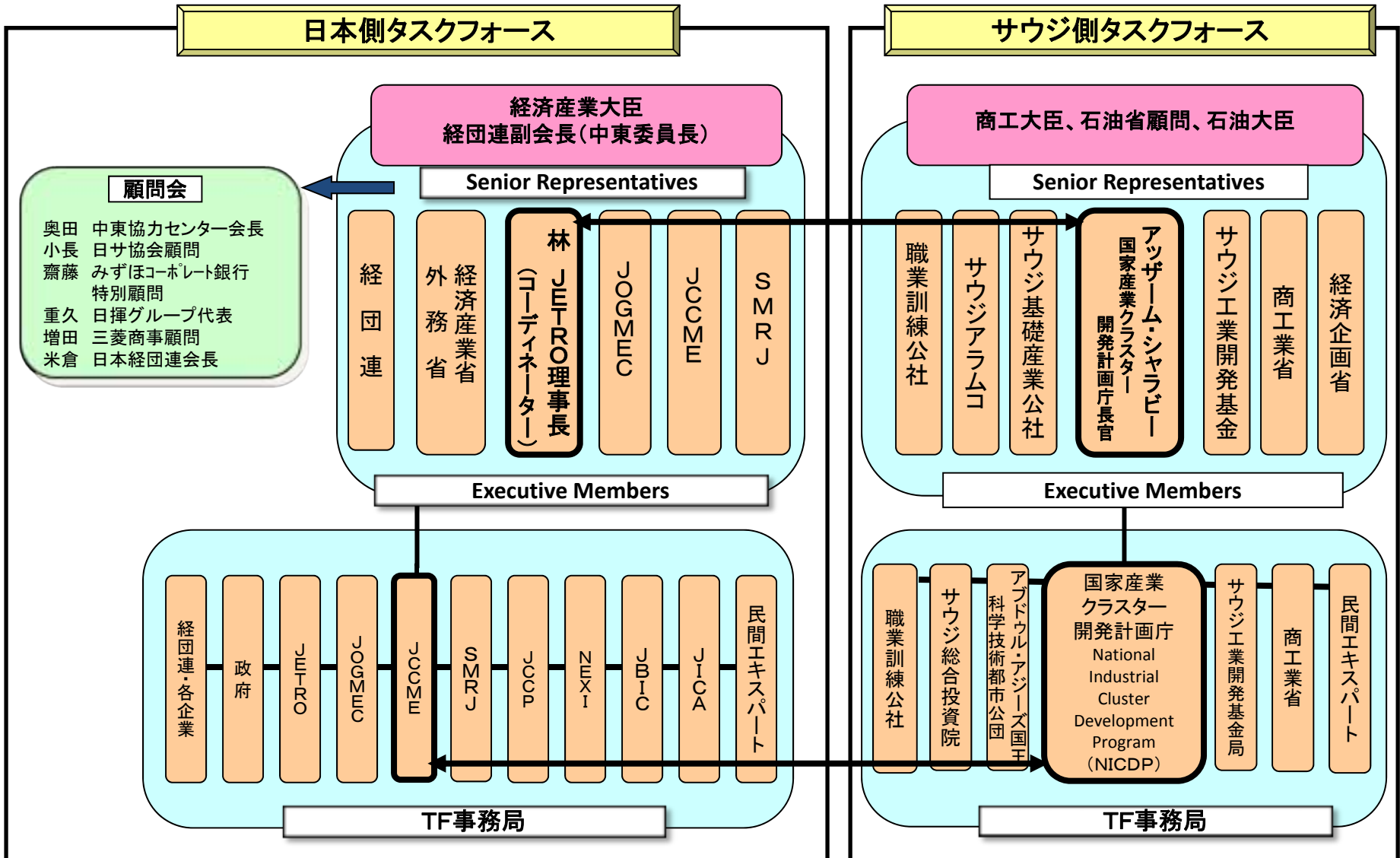
両国首脳共同宣言のポイント

- 産業協力フレームワークの立ち上げ
- 投資協定交渉の進展
- 日・GCC・FTA交渉の進展
- エネルギー分野における対話・関係強化
- 原油の安定供給の確認
- 地球温暖化対策への協力 等々

双方は、二国間の経済及び商業活動の最近の発展に対する満足の意を示しつつ、経済関係の更なる発展が、サウジアラビアと日本との間の戦略的関係の発展に向けた主要な原動力であるという認識を共有した。双方は、経済関係の包括的な発展のために、政府部門及び民間部門の双方により最大限の努力をなすべきことにつき確認した。この目的のため、両国の指導者は、金融制度、資源及び技術を含む両国の利用可能な資源を最大限活用しつつ、**両国の産業における投資機会を促進する目的のため適切かつ専門的な共同タスクフォースを設立する**という積極的な取組を開始することを決定した。

- ✓ 日サ合同の「タスク・フォース」設置
- ✓ 総理による日本側コーディネーター指名 → JETRO林理事長
- ✓ サウジ側の「国家産業クラスター開発計画 (NICDP)」に焦点
- ✓ 両国官民ハイレベルで産業協力を推進

日本・サウジアラビア産業協力タスクフォース体制



(注)JCCME: (財)中東協力センター

JOGMEC: (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構

JETRO: (独)日本貿易振興機構

JICA: (独)国際協力機構

SMRJ: (独)中小企業基盤整備機構

JBIC: 国際協力銀行

NEXI: (独)日本貿易保険

JCCP: (財)国際石油交流センター



National Industrial Cluster Development Program

国家産業クラスター開発計画(NICDP)

クラスター・プログラムとは

サウジの諸資源を活用し、特定の産業クラスターを育成することより、経済の成長と多様化を目指す政府主導の産業振興政策

NICDPの核となる5分野

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 1ー自動車関連:組立て・部品生産・タイヤ | 2ー建築関連:建築材料・建築資材 |
| 3ー金属加工:製鉄・アルミ精錬・圧延・加工 | 4ー包装関連:プラスチックバッグ・梱包材 |
| 5ー消費財:電機・電子(冷蔵庫・調理器・洗濯機・冷凍庫等)・ソーラー | |

クラスター開発の狙い

- 1ー若年層の雇用創出
- 2ー輸出競争力の向上
- 3ーバリューチェーン効果
- 4ー技術移転・サウジ人人材の育成



**脱石油依存型経済の
実現**

タイムフレーム

- 2013年までに"Seeds"を蒔き、(外資企業誘致)
2020年までに"Trees"に育てる (産業多角化)



産業協力タスクフォース活動の三本柱

- タスクフォースでは、主に下記の3つの活動を、日本とサウジアラビア間の産業協力として行っております（日サウジ両国共通認識）。

1. 投資（製造進出）を検討する日本企業への支援
2. サウジアラビア側の中小企業育成の政策立案支援
3. 人材育成支援
（サウジアラビア電子・家電製品研修所（SEHAI）設立）

TF活動三本柱 ①投資(製造進出)を検討する日本企業への支援

3つの経済支援スキーム

- タスクフォースでは、3つの支援スキームを用意し、日本企業のサウジ進出検討の「入口支援」を図っています。

支援スキームの種類	内容および主な補助対象経費
現地調査ミッション派遣事業	サウジアラビアへの投資等環境調査や投資等案件発掘・形成に関する調査・協議等を目的として派遣。 ＜補助対象経費＞ 渡航費、滞在費、事前準備費、現地活動費等の全額
ビジネスサポートオフィス利用	
現地詳細投資環境調査事業	サウジアラビアへの事業進出可能性のある具体的案件について、詳細投資環境調査、F/Sを実施。 ＜補助対象経費＞ 渡航費、滞在費、現地活動費、翻訳費、現地調査費、報告書作成費等の全額 (上限1,500万円)
サウジアラビア側ミッション受入事業	サウジアラビア企業との間で行う調査・協議等を目的として、サウジアラビア側の訪日ミッションを受入。 ＜補助対象経費＞ 渡航費、滞在費、事前準備費、国内活動費等の全額

TF活動三本柱 ①投資(製造進出)を検討する日本企業への支援 ビジネスサポートオフィスの設置

- タスクフォースでは、支援スキーム利用企業向けに、無料で利用できるオフィススペース「ビジネスサポートオフィス」をリヤドに設置しており、多数の企業にご利用いただいています。



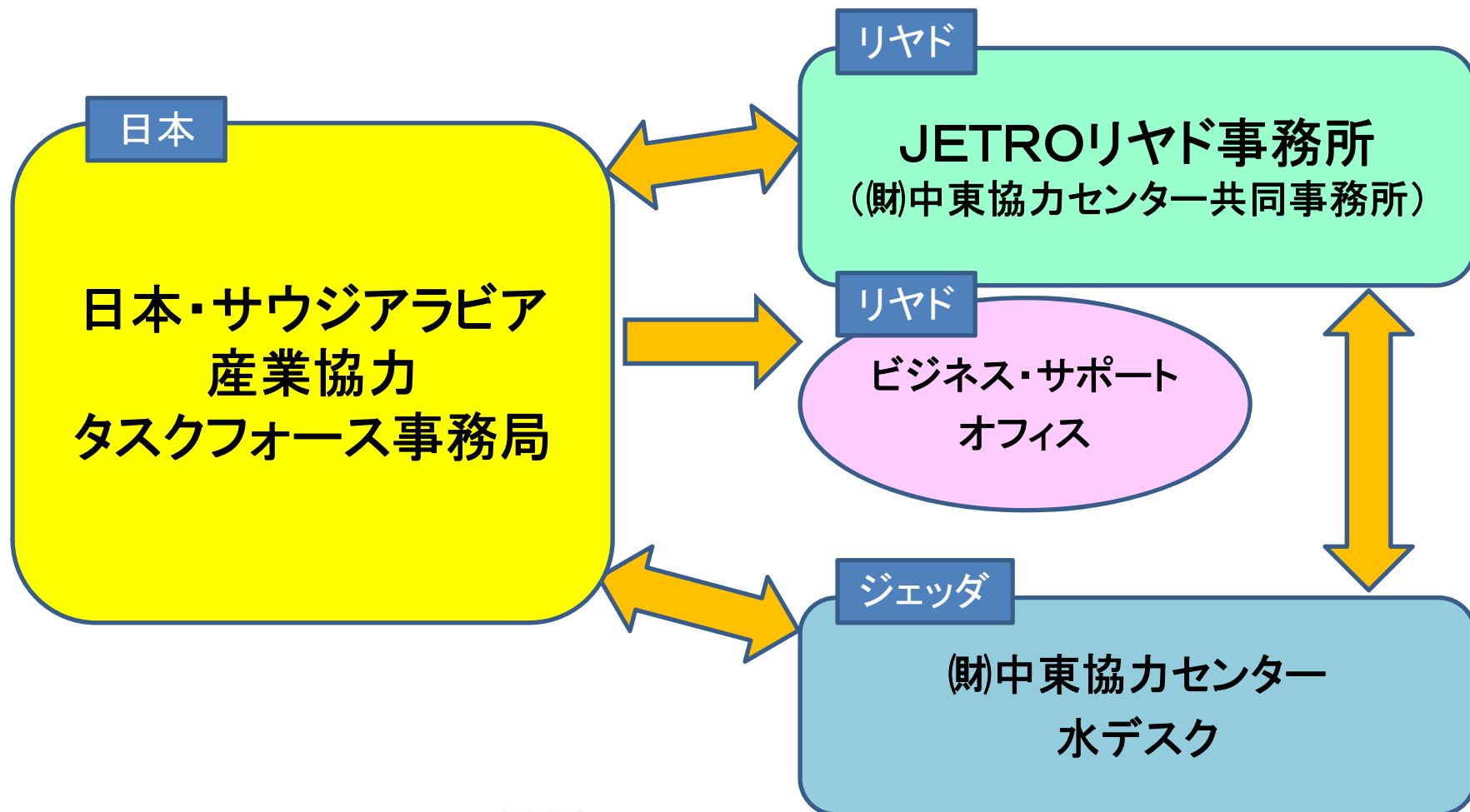
BSO開所セレモニー(2008年10月)

- サウジアラビアへの進出を検討する日本企業(産業協力支援事業の対象となる企業)が、進出に必要な調査、検討、準備を行う拠点として一定期間無料で利用できるオフィススペース(2008年9月オープン)
- 常駐スタッフが進出調査、検討の段階から企業をサポートし、サウジアラビアへの進出に必要なノウハウ、情報等を提供するとともに、企業の相談に応じます。
- 隣接するJETROリヤド事務所のビジネス・ライブラリーを利用できます。



日本側の進出企業支援体制

- 相互に連携を図りながら、サウジアラビア進出に必要なノウハウ、情報、資料等を提供します。



支援状況

- タスクフォースでは、サウジアラビア進出検討企業の発掘のためにアンケート、セミナーならびにヒアリングを多数実施しました。
- 現在サウジアラビアへの投資可能性のある企業約30社を支援中です。

上場企業約2,400社向けにアンケートを実施

15のビジネスセミナーにてPR(延べ1,500社以上向け)

アンケート回答企業およびセミナー参加企業で関心を示した企業など、延べ500社に直接ヒアリングを実施

現在サウジアラビアへの投資可能性のある企業、約60社が本事業の支援スキームを活用。うち30社以上を対象として、現在支援継続中

TF活動三本柱 ①投資(製造進出)を検討する日本企業への支援

投資を決定した支援対象企業

- 支援活動が実を結び、2011年3月現在、下記の5社の支援対象企業が現地への投資を決定・公表済みです。

いすゞ自動車(株)

- 2011年中に現地法人を設立、2012年末にも現地工場にて中型トラック「フォワード」の組立を開始予定



東洋紡績(株)、伊藤忠商事(株)

- 海水淡水化用逆浸透膜エレメントの製造販売会社を2010年6月に設立



(株)ジェイ・パワーシステムズ、丸紅メタル(株)

- 電力海底ケーブルの製造販売会社を2009年11月に設立



(株)クボタ

- 石油化学プラント用反応管(クラッキング・コイル等)の製造販売会社を2009年12月に設立



(株)インデックス・ホールディングス

- コンテンツサービスの企画・開発・提供等行う現地合弁会社(Index Middle East Limited)を設立
- キング・アブドゥルアジーズ科学技術都市「KACST」と業務提携、アニメーション、ゲーム、コンピュータグラフィックにおける人材・産業育成のコンサルテーションを実施



TF活動三本柱 ①投資(製造進出)を検討する日本企業への支援

サウジアラビア側との連携

サウジアラビア政府が提示しているインセンティブ例	
①	税制 法人所得税は一律20%。製造業のための資本財や原材料の輸入に対する輸入関税は免除(但しサウジ国内での工業生産に使用され、かつサウジでの調達困難な場合)
②	インフラ 土地+関連インフラの提供、安価な電力・ガスの提供
③	融資 低利融資(SIDF:サウジ工業開発基金)
④	政府調達 サウジアラビア政府と特定企業との交渉による政府調達契約の締結が場合により可能(サウジアラビアはWTO加盟時に政府調達ルールにコミットしていないため)
⑤	人材 ・新規採用のサウジ人従業員に対する給与・研修費の政府補助制度が充実 ・2年間を限度とする訓練中従業員の給与に対する半額補助(HRDF:人材開発基金)

1. サウジ国内各地の国営・民営工業団地との連携

RCJY, MODON, RCIPなど

2. サウジ側の関連組織・企業との連携

ARAMCO, SABIC, 商工省、各地商工会議所、関連地場企業など

3度のフィールド調査を実施、サウジ政府向けに政策提言を実施

- 産業振興には中小企業育成が重要であるとの甘利前経産大臣の指摘を契機とし、中小企業政策協力を開始。
- 数度の意見交換を経て、複数回の調査ミッション派遣と、サウジアラビアにおける中小企業政策のブループリントを作成することで合意。

→2008年10月下旬、2009年1月初旬、及び2月初旬に、中小企業庁、資源エネルギー庁、学識経験者等を含む調査団による第1次～第3次調査ミッションを派遣し、サウジの中小企業の実態を調査。

→「サウジアラビア王国における中小企業政策への提言(ドラフトプロポーザル)」を作成し、サウジ側(商工省)に報告。

自動車・プラスチックに続く第3の研修所 「サウジアラビア電子・家電製品研修所」を設立

日サ自動車技術高等研修所(SJAH)

- 1998年のアブドラ皇太子(当時。現国王)訪日の際に、SJAH設立に関する協力を行うことにつき合意。
- 2001年9月からODA支援プロジェクトとして支援を開始。現在第2フェーズ支援を実施中。

プラスチック加工高等研修所(HIPF)

- サウジアラビア側の要請により、サウディ石油化学(SPDC)が主体となり各機関の協力のもと設立・運営。日本人専門家の派遣を実施。

サウジ電子・家電製品研修所(SEHAI)

- サウジアラビア側から電機・電子分野の訓練校設立への協力につき要請。2009年9月26日開校。
- 中東協力センターを中心に、日本工学院、我が国の大手家電10社(ダイキン工業、富士通ゼネラル、コニカミノルタ、パナソニック、東芝、日本ビクター、シャープ、三洋電機、日立製作所、ソニー)等の参加を得て設立協力実施。

1. 日本・サウジアラビア産業協力タスクフォースの 活動概観

2. サウジアラビア有力企業ヒアリング調査 （「パートナー・ニーズ調査」） 結果報告



パートナー・ニーズ調査 調査の概略

■ 目的

現地主要財閥／企業の日系企業との合弁事業に対するニーズの把握

■ 調査概要

- 製造事業に関心がありそうな財閥または大手企業グループ先を中心に選定、主要3都市にて民間企業計30社、国営企業その他計5社を訪問し、日系企業との合弁事業に対するニーズを聴取。
- サウジアラビア側タスクフォース(NICDP)との合同調査として実施。NICDPが一部ヒアリングに同席。

■ 調査日程

- 2009年6月20-25日 リヤド調査
- 2009年6月27-7月1日 東部州(ダンマン、ダハラン、アル・コバール、アル・ジュベイル)調査
- 2009年8月1-5日 ジェッダ調査

調査結果

- 現地財閥／企業より、TF活動及び当該調査趣旨共々大変歓迎され、日本に対するイメージの良さ、日本の製造面における技術への期待の大きさ、日本企業とのJV設立／提携への強い意欲を理解
- 日本企業・技術に対する具体的なニーズを把握、該当分野は、次のキーワードで分類可能

1. サウジアラビアの強みを発揮できるセクター

→ 石油・ガス等資源関連及び石油化学周辺分野

2. 国家予算の重点配分セクター

→ 教育、医療、インフラ

3. 現地の旺盛な消費に対応するセクター

→ 消費財関連、建材等

サウジアラビアの強みを発揮できるセクター

- サウジアラビアの強みを発揮できるセクター（石油・ガス等エネルギー関連及び石油化学周辺分野）に該当する技術・商品で、具体的にニーズとしてあぶりだされたもの

- 石油・ガス上流： 海上構造・設備建設及び組立て（プラットフォーム他）、造船（バージ、タグボートの建造・メンテナンス）等
- 石油・ガス周辺分野、石油化学周辺分野： 金属パイプ、バルブ（コーティング・フィッティング）、ポンプ、石油化学系各種フィルタリング装置
- 石油化学下流： プラスチックパレット、SAP、ポリエチレンパイプ、タイヤ
- プラント・工場周り関連： ボイラー、スチームタービン、水冷式・中央管制型・大型エアコン、製油所プラントメンテナンス技術
- 鉱業そのもの

国家予算の重点配分セクター

- 国家予算の重点配分セクター（教育[ICT含む]、医療、インフラ）に該当する技術・商品で、具体的にニーズとしてあぶりだされたもの

- 教育セクター： 関連ハード・ソフト全般
- ICT： システムインテグレーション、データセンター
- 医療セクター： 医療器具、医薬品、使い捨て医療器具、メディカルガス
- エネルギーインフラ： ソーラーパネル及び部材、発電機
- 水インフラ： 水処理事業関連技術（RO/MBRフィルター、薬品等）
- 通信インフラ： 光ケーブル等

現地の旺盛な消費に対応する分野

■ 現地の旺盛な消費に対応するセクターに該当する技術・商品で、具体的にニーズとしてあぶりだされたもの

- パッケージング: プラスチック包装、アルミ缶(コーティング技術を含む)、紙パッケージ
- 消費財: 加工食品(カップ麺等レトルト食品、機能性食用油)、自動車部品、オフィス家具、セキュリティ機器(監視カメラ、認証システム等)バキューム・フラスク(魔法瓶)
- 消費財販売関連機器: 自動販売機、業務用冷蔵庫・大型冷凍貯蔵庫
- 建設関連: 耐熱煉瓦、建設機械、住宅・学校・病院・ショッピングモール等建設

ご紹介した分野をはじめ、現地進出にご関心のある企業様は、是非下記担当までご連絡ください！
現地駐在経験者を含め、多数の専門家を揃えてお待ちしております！



日本・サウジアラビア産業協カタスクフォース事務局

担当： 鈴木 (ysuzuki@jccme.or.jp)、中村 (hnakamura@jccme.or.jp)、
森川 (morikawa@jccme.or.jp)、佐竹 (satake@jccme.or.jp)

Tel: 03-3222-5020 (代表)

Website: <http://www.saudiarabia-jccme.jp/>

